

## 第53回日本アルコール・アディクション医学会学術総会

2018年9月9日(日) 第1会場(国立京都国際会館 1F 宴会場 さくら)

### 15:10 ~ 16:10 特別講演1 ASL1

座長：竹井謙之(三重大学大学院医学系研究科 消化器内科学)

#### ASL1 依存をめぐる最近の動向

樋口 進

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター, 依存症対策全国センター

### 16:10 ~ 17:10 特別講演2 ASL2

座長：吉治仁志(奈良県立医科大学 内科学第三講座)

#### ASL2 アルコール性肝障害の臨床的課題と病態解明の進歩

池嶋健一

順天堂大学大学院医学研究科消化器内科学

2018年9月9日(日) 第2会場(国立京都国際会館 1F Room D)

### 13:00 ~ 15:00 シンポジウム1 AS1

#### 最新認知科学で読み解くアディクション

座長：廣中直行(株式会社LSIメディエンス 薬理研究部)

高野裕治(東北大学 東北メディカル・メガバンク機構地域医療支援部門 MRI推進室)

#### AS1-1 食べることに関するアディクションを心理学で解く

高野裕治

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 MRI推進室

#### AS1-2 人の意思決定とギャンブル障害

木戸盛年

大阪商業大学

#### AS1-3 認知科学で読み解くギャンブルの合理性と不合理性

斎藤元幸

関西学院大学 文学部

#### AS1-4 内発的動機は「スマホ依存」を生み出すか？

高橋伸彰

佛教大学 教育学部 臨床心理学科

## 2018年9月9日(日) 第6会場(国立京都国際会館 5F Room 501)

## 13:00 ~ 15:00 シンポジウム 2 AS2

## アセトアルデヒド研究の新展開

座長：横山 顕(国立病院機構久里浜医療センター)

藤宮龍也(山口大学法医学)

## AS2-1 アセトアルデヒド・パラドックスを巡って

藤宮龍也

山口大学大学院 医学系研究科 法医学講座

## AS2-2 アセトアルデヒドによる食道発癌メカニズム

武藤 学、大橋真也

京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座

## AS2-3 呼吸検査からみる口腔内アルコール代謝と ALDH2 遺伝子多型との関係

姫宮彩子、藤宮龍也

山口大学大学院医学系研究科 法医学講座

## AS2-4 アセトアルデヒドと胃癌

飯島克則

秋田大学大学院医学系研究科 消化器内科・神経内科学講座

## AS2-5 アルコール依存症患者の食道・頭頸部・胃の内視鏡がん検診の経年的変化(1993-2017年)

横山 顕

国立病院機構久里浜医療センター

## 15:10 ~ 17:10 シンポジウム 4 AS4

## 女性とアルコール

座長：尾崎米厚(鳥取大学医学部環境予防医学分野)

## AS4-1 わが国の一般集団における女性のアルコール使用実態

金城 文、尾崎米厚、桑原祐樹、今本 彩、藤井麻耶

鳥取大学 医学部 社会医学講座 環境予防医学分野

## AS4-2 精神科医師の立場から「女性のアルコール依存症」

岩原千絵、樋口 進

独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 精神科

**AS4-3 女性アルコール依存症の心理的背景とマインドフルな態度**

美濃部るり子<sup>1)</sup>、杉浦久美子<sup>2)</sup>、湯本洋介<sup>1)</sup>、岩原千絵<sup>1)</sup>、石川葉月<sup>3)</sup>、尾崎米厚<sup>4)</sup>、  
樋口 進<sup>1)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 精神科
- 2) 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 心理療法士室
- 3) 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 看護部
- 4) 鳥取大学医学部 社会医学講座 環境予防医学分野

**AS4-4 “community based treatment” における女性依存症者の回復過程**

大嶋栄子、檜垣知里、平田有絵  
特定非営利活動法人リカバリー

## 2018年9月9日(日) 第7会場(国立京都国際会館 5F Room 509)

13:00 ~ 15:00 シンポジウム 3 AS3

プライマリケアにおけるアルコール使用障害治療の展開  
～アルコール使用障害の一般医療化に必要なこと～座長：成瀬暢也(埼玉県立精神医療センター)  
堀江義則(湘南慶育病院)

## AS3-1 診療所におけるアルコール使用障害の一般医療化に必要なこと

吉本 尚  
筑波大学医学医療系 地域総合診療医学AS3-2 病院におけるアルコール使用障害の一般医療化に必要なこと  
～コメディカルとの連携とアルコール医療委員会の設置について～堀江義則<sup>1)</sup>、菊池真大<sup>2)</sup>  
1) 湘南慶育病院 消化器内科  
2) 国立病院機構 東京医療センター 消化器科

## AS3-3 産業医としてアルコール使用障害の一般医療化に必要なこと

田中 完  
新日鐵住金(株) 鹿島製鐵所 安全環境防災部 安全健康室AS3-4 プライマリーケアにおけるアルコール使用障害治療の展開  
～TAPPY (Tokyo Medical Center Alcoholic Program with Physicians) という仕掛け～水野有紀<sup>1)</sup>、石原亮太<sup>2)</sup>、杉原正子<sup>2)</sup>、佐藤寧子<sup>3)</sup>、菊池真大<sup>4)</sup>、堀江義則<sup>5)</sup>  
1) 国立病院機構東京医療センター 医療福祉相談室  
2) 国立病院機構東京医療センター 精神科  
3) 国立病院機構東京医療センター 看護部  
4) 国立病院機構東京医療センター 消化器科  
5) 湘南慶育病院

## AS3-5 精神科医としてアルコール使用障害の一般医療化に必要なこと

武藤岳夫  
国立病院機構肥前精神医療センター

## 2018年9月10日(月) 第1会場(国立京都国際会館 1F 宴会場 さくら)

## 9:00 ~ 11:00 シンポジウム5 AS5

## 依存症抑止に向けた文理横断的挑戦

座長：山田清文(名古屋大学大学院医学系研究科医療薬学)

## AS5-1 依存症抑止に向けた認知・意思決定異常の解明

溝口博之<sup>1)</sup>、山田清文<sup>2)</sup>

- 1) 名古屋大学 環境医学研究所 次世代創薬研究センター
- 2) 名古屋大学大学院医学系研究科医療薬学・附属病院薬剤部

AS5-2 オペラント行動の制御における線条体ニューロンの役割  
—意思決定の変調としての依存症理解への示唆—

井口善生

福島県立医科大学 附属生体情報伝達研究所 生体機能研究部門

AS5-3 メタンフェタミンをUSとした複合条件づけにおいて同時に獲得される  
場所選好と匂い嫌悪—薬物依存の心理学的プロセスに対する考察

神前 裕

早稲田大学文学部

## AS5-4 脳画像研究の知見を利用した依存症抑止への展望

鶴身孝介

京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座(精神医学)

## 12:00 ~ 12:30 柳田賞受賞講演

## 13:20 ~ 14:20 教育講演3 AEL3

座長：松本博志(大阪大学法医学教室)

## AEL3 アルコール代謝と法医学鑑定

藤宮龍也

山口大学大学院医学系研究科法医学講座

## 14:20 ~ 15:20 特別講演3 ASL3

座長：田中隆治(星薬科大学)

ASL3 疾患脳細胞の統合的理解：リバーストランスレシヨナルニューロサイエンス  
リサーチの展開

成田 年<sup>1,2)</sup>

- 1) 星薬科大学 薬理学研究室
- 2) 星薬科大学 先端生命科学研究センター(L-StaR)

## 15:30 ~ 16:30 教育講演4 AEL4

座長：福永龍繁（東京都監察医務院）

**AEL4** アルコール依存形成機序解明への基礎的方法論  
ー物質依存作業仮説での位置づけー

吉本寛司

広島工業大学生命学部食品生命科学科

## 2018年9月10日(月) 第2会場(国立京都国際会館 1F Room D)

## 9:00 ~ 10:00 教育講演1 AEL1

座長：木下博之(香川大学医学部 医学系研究科 法医学)

## AEL1 血管機能におよぼすアルコールの影響

羽竹勝彦

奈良県立医科大学 法医学

## 13:10 ~ 13:35 提言

座長：佐藤信紘(順天堂大学名誉教授・特任教授)

## 提言 アルコール・薬物による精神・身体障害の研究と医療に必要な時代対応したパラダイムシフトの提言

松崎松平<sup>1)</sup>、竹井謙之<sup>2)</sup>

1) アルコール・アディクション医学会名誉会員、東海大学名誉教授

2) 三重大学大学院医学系研究科 消化器内科学

## 13:40 ~ 15:40 スポンサーシンポジウム2 SS2

## 飲酒量とアルコール性身体疾患

座長：竹井謙之(三重大学大学院医学系研究科 消化器内科学)

池嶋健一(順天堂大学 消化器内科学講座)

## SS2-1 オープニング

竹井謙之

三重大学大学院医学系研究科 消化器内科学

## SS2-2 基調講演

池嶋健一

順天堂大学 消化器内科学講座

## SS2-3 飲酒量と肝障害

橋本悦子

西武鉄道株式会社 健康支援センター

## SS2-4 飲酒量と膵炎

正宗 淳

東北大学 消化器内科

## SS2-5 飲酒量と高血圧

上島弘嗣

滋賀医科大学 アジア疫学研究センター

## SS2-6 飲酒量とがん

津金昌一郎

国立がん研究センター 社会と健康研究センター

## SS2-7 総合討論

共催：大塚製薬株式会社

## 2018年9月10日(月) 第3会場(国立京都国際会館 1F Room E)

9:00 ~ 11:00 シンポジウム 6 AS6

## アルコール関連消化器疾患：最近の知見

座長：吉治仁志(奈良県立医大第三内科)

正宗 淳(東北大学消化器内科)

## AS6-1 Extracellular vesicle miRNAs in alcoholic steatohepatitis

江口暁子<sup>1)</sup>、竹井謙之<sup>1)</sup>、Feldstein Ariel<sup>2)</sup>、塚本秀和<sup>3)</sup>

1) 三重大学大学院医学系研究科 消化器内科学

2) Department of Pediatrics, University of California San Diego, La Jolla, California, USA

3) Southern California Research Center for ALPD and Cirrhosis and Departments of Pathology, Keck School of Medicine of the University of Southern California, Los Angeles, California, USA

## AS6-2 アルコール性肝障害と腸内細菌

谷合麻紀子

東京女子医科大学 消化器内科

## AS6-3 アルコール性肝障害における小胞体ストレス・酸化ストレスの関与

今 一義、鈴木麻衣子、内山 明、青山友則、深田浩大、山科俊平、池嶋健一

順天堂大学 医学部 消化器内科

## AS6-4 非代償性肝硬変症に対する自己骨髄由来細胞を用いた再生療法の臨床実施

高見太郎<sup>1)</sup>、松本俊彦<sup>2,3)</sup>、坂井田功<sup>1,2,4)</sup>

1) 山口大学 消化器内科学

2) 山口大学 再生・細胞治療研究センター

3) 山口大学 臨床検査・腫瘍学

4) 山口大学 再生医療教育研究センター

## AS6-5 アルコール性肝障害病態における腸管バリア機能異常：最近の研究成果のレビュー

中島 淳

横浜市立大学 肝胆膵消化器病学教室

## AS6-6 アルコール飲料と Field cancerization 現象

武藤 学<sup>1)</sup>、堅田親利<sup>2)</sup>

1) 京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座

2) 北里大学 消化器内科

## AS6-7 アルコール性膵炎の危険因子

菊田和宏、濱田 晋、糸 潔、正宗 淳

東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学



**11:00 ~ 11:50 教育講演2 AEL2**

座長：岩佐元雄（三重大学大学院医学系研究科 消化器内科学）

**AEL2 アルコール性肝障害 —最近の臨床的知見—**

谷合麻紀子

東京女子医科大学消化器内科

**13:20 ~ 15:20 シンポジウム7 AS7****アルコール・薬物問題への社会医学的アプローチ**

座長：福永龍繁（東京都監察医務院）

木下博之（香川大学医学部法医学）

**AS7-1 Alcohol Dehydrogenase とアルコール性腎障害の関係を探る**

勝山 碧<sup>1)</sup>、長谷場健<sup>1,2)</sup>、石崎正通<sup>3)</sup>、佐佐木喜広<sup>4)</sup>、奥田貴久<sup>1)</sup>、丸山基世<sup>5)</sup>、  
秋元敏雄<sup>5)</sup>、小黑辰夫<sup>4)</sup>、大野曜吉<sup>1)</sup>

- 1) 日本医科大学 法医学
- 2) 神奈川歯科大学 法医学
- 3) 日本医科大学 解析人体病理学
- 4) 日本医科大学 形態解析研究室
- 5) 日本医科大学 実験動物管理室

**AS7-2 血管系に及ぼす慢性アルコール摂取の影響**

工藤利彩、勇井克也、羽竹勝彦

奈良県立医科大学 法医学

**AS7-3 アルコール習慣飲酒者の異状死調査**

木村聡子<sup>1,2)</sup>、鈴木秀人<sup>1)</sup>、福永龍繁<sup>1)</sup>、西谷陽子<sup>2)</sup>

- 1) 東京都監察医務院
- 2) 熊本大学大学院生命科学研究部法医学分野

**AS7-4 飲酒が関連した不慮の事故死の疫学調査（平成27年、東京都23区）**

鈴木秀人<sup>1)</sup>、谷藤隆信<sup>1)</sup>、木村聡子<sup>1,2)</sup>、福永龍繁<sup>1)</sup>

- 1) 東京都監察医務院
- 2) 熊本大学 法医学分野

## 2018年9月10日(月) 第5会場(国立京都国際会館 1F Room G)

9:00 ~ 11:00 理事長企画シンポジウム ASP

## 次世代のアディクション研究をめざして

座長：齋藤利和(医療法人北仁会幹メンタルクリニック)

池田和隆(東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野)

## ASP-1 「嗜好」と「依存／嗜癖」の境界

高田孝二

帝京大学 文学部 心理学科

## ASP-2 物質と行動のアディクションの動物モデルを求めて

廣中直行

株式会社LSIメディエンス 創薬支援事業本部 薬理研究部

## ASP-3 依存症の脳画像研究における「卵か鶏」問題

高橋英彦

京都大学

## ASP-4 渴望の治療薬はありうるか

宮田久嗣

東京慈恵会医科大学 精神医学講座

## 一般演題（口演）プログラム

**2018年9月10日（月） 第7会場（国立京都国際会館 5F Room 509）**

**9:00 ~ 10:00 一般演題（口演）1 01**

### プライマリケア

座長：吉本 尚（筑波大学 医学医療系地域総合診療医学）

**01-1 飲酒経験における18歳から22歳の大学生と社会人との差異**

三好美浩

岐阜大学医学部 看護学科

**01-2 大学生等を対象とした依存性形成の危険度評価における質問紙法の妥当性に関する検討**

田中健一

埼玉県立大学 保健医療福祉学部 生理薬理学

**01-3 依存症患者へ動機づけ面接をおこなう看護師の意識変化  
依存症回復支援のために**

大矢照美

東京都立松沢病院

**01-4 専門医療機関におけるアルコール依存症入院患者の在宅移行支援  
—看護師等へのインタビュー調査より—**

足立円香、渡井いずみ

名古屋大学大学院 医学系研究科 看護学専攻

**01-5 スペインのProjecto Hombreにおけるアディクションの捉え方と支援のあり方**

井上智恵

立命館大学大学院社会学研究科博士後期課程

**01-6 福岡市における保護観察対象の薬物依存者の地域支援（Voice Bridges Project）**

神前洋帆<sup>1)</sup>、武藤由也<sup>1)</sup>、徳永弥生<sup>1)</sup>、本田洋子<sup>1)</sup>、宇佐美貴士<sup>2)</sup>、熊倉陽介<sup>3)</sup>、高野 歩<sup>4)</sup>、松本俊彦<sup>2)</sup>

1) 福岡市精神保健福祉センター

2) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部

3) 東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野

4) 横浜市立大学 医学部看護学科 精神看護学分野

## 10:10 ~ 10:40 一般演題(口演) 4 04

## アルコールと内科疾患

座長：白石光一(東海大学医学部附属東京病院消化器内科)

## 04-1 アルコール使用障害を合併するC型慢性肝疾患に対するDAA治療の現状と問題点

木村泰彦<sup>1,2)</sup>、國土圭子<sup>1)</sup>、石川泰浩<sup>1)</sup>、仁井昌彦<sup>1)</sup>、明石瑛美子<sup>2)</sup>

- 1) 三豊市立西香川病院 内科
- 2) 前田病院 消化器内科

## 04-2 入院を繰り返すアルコール依存患者の栄養状態と病態の進行

土島 睦<sup>1)</sup>、堤 幹宏<sup>1)</sup>、森川恵一<sup>2)</sup>

- 1) 金沢医科大学 肝胆膵内科学
- 2) 松原病院 精神科

## 04-3 アルコール性肝障害における肝硬度改善例・悪化例、脂肪化改善例・悪化例の臨床像の検討

菊池真大<sup>1,3)</sup>、木下 聡<sup>1)</sup>、森 英毅<sup>1)</sup>、中里圭宏<sup>1)</sup>、菊池美穂<sup>1)</sup>、藤本 愛<sup>1)</sup>、石原亮太<sup>2)</sup>、杉原正子<sup>2)</sup>、堀江義則<sup>4)</sup>

- 1) 国立病院機構 東京医療センター 消化器内科
- 2) 国立病院機構 東京医療センター 精神科
- 3) 東海大学医学部附属東京病院 消化器肝臓センター
- 4) 湘南慶育病院 消化器内科

## 13:10 ~ 14:00 一般演題(口演) 5 05

## 依存症の疫学

座長：田中増郎(高嶺病院)

## 05-1 一般住民におけるカフェイン製剤使用状況と薬物使用との関連：薬物使用に関する全国住民調査より

嶋根卓也<sup>1)</sup>、邱 冬梅<sup>1)</sup>、和田 清<sup>1,2)</sup>

- 1) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部
- 2) 埼玉県立精神医療センター 依存症治療研究部

## 05-2 一般住民におけるエナジードリンク使用状況と薬物使用との関連：薬物使用に関する全国住民調査より

嶋根卓也<sup>1)</sup>、邱 冬梅<sup>1)</sup>、和田 清<sup>1,2)</sup>

- 1) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部
- 2) 埼玉県立精神医療センター 依存症治療研究部

## 05-3 一般住民における大麻使用の増加：薬物使用に関する全国住民調査より

嶋根卓也<sup>1)</sup>、邱 冬梅<sup>1)</sup>、和田 清<sup>1,2)</sup>

- 1) 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部
- 2) 埼玉県立精神医療センター 依存症治療研究部

**05-4** ギャンブル障害のリスク判断に関する研究—パチンコ店経営・運営に携わる従業員への調査から—

新井清美<sup>1)</sup>、森田展彰<sup>2)</sup>

- 1) 首都大学東京 健康福祉学部 看護学科
- 2) 筑波大学 医学医療系

**05-5** ギャンブル障害に併存する精神疾患についての調査研究

山田理沙<sup>1)</sup>、宮下久未<sup>2)</sup>、田村裕介<sup>1)</sup>、橋本貴充<sup>2)</sup>、高田孝二<sup>2)</sup>、宮田久嗣<sup>1)</sup>

- 1) 東京慈恵会医科大学精神医学講座
- 2) 帝京大学

**14:10 ~ 15:10 一般演題(口演) 7 07**

**基礎医学**

座長：高見太郎(山口大学 消化器内科)

**07-1** アルコールおよび動脈硬化誘発食の相乗効果が血管壁再構築と関連する内皮細胞及び平滑筋細胞にもたらす影響

劉 金耀、姫宮(白鳥)彩子

山口大学大学院医学系研究科 法医学講座

**07-2** エタノール慢性+大量単回投与KK-A<sup>y</sup>マウスを用いたアルコール性肝障害およびその雌雄差のメカニズム解析

北川隆太、今 一義、内山 明、深田浩大、青山友則、山科俊平、池嶋健一

順天堂大学医学部 消化器内科

**07-3** アルコール性肝障害の病態解明のためのエタノール含有水飼育メダカモデルの作出

高見太郎<sup>1,2)</sup>、藤澤浩一<sup>1,2,3)</sup>、坂井田功<sup>1,2,3)</sup>

- 1) 山口大学 消化器内科
- 2) 山口大学 再生・細胞治療研究センター
- 3) 山口大学 再生医療教育研究センター

**07-4** 加齢によるNASH発症感受性増大とそのメカニズム解析

石塚 敬、今 一義、深田浩大、青山友則、内山 明、山科俊平、池嶋健一

順天堂大学 消化器内科

**07-5** 統合失調症様モデルマウスにおける精神行動に与えるニコチン連続投与の影響

添田光輝<sup>1)</sup>、山田将政郎<sup>1)</sup>、高須光平<sup>1)</sup>、吉見 陽<sup>1)</sup>、北垣伸治<sup>2)</sup>、久島 周<sup>3)</sup>、尾崎紀夫<sup>3)</sup>、野田幸裕<sup>1,3)</sup>

- 1) 名城大学薬学部・大学院薬学研究科 病態解析学 I
- 2) 名城大学薬学部・大学院薬学研究科 薬化学研究室
- 3) 名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学分野

07-6

**危険ドラッグ蔓延防止に向けた岐阜県における取り組み(3):  
合成カンナビノイド代謝物の同定と異性体の構造識別**

伊藤哲朗<sup>1)</sup>、首村菜月<sup>1,2)</sup>、松久貴哉<sup>1,2)</sup>、川島英頌<sup>1,2)</sup>、神山恵理奈<sup>1)</sup>、曾田 翠<sup>2)</sup>、  
筑本貴郎<sup>1)</sup>、永井宏幸<sup>1)</sup>、船田正彦<sup>3)</sup>、北市清幸<sup>2)</sup>

- 1) 岐阜県保健環境研究所 生活科学部
- 2) 岐阜薬科大学 薬物動態学研究室
- 3) 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部

## 2018年9月10日(月) 第8会場(国立京都国際会館 5F Room 510)

9:00 ~ 9:30 一般演題(口演) 2 02

## ギャンブル依存

座長：白坂知彦(手稲溪仁会病院 精神保健科)

## 02-1 当院のギャンブル障害治療の現状と課題

入来晃久

大阪精神医療センター

## 02-2 病的ギャンブラーとギャンブル愛好家とを峻別するものは何か

田中紀子<sup>1)</sup>、松本俊彦<sup>2)</sup>、森田展彰<sup>3)</sup>、木村智和<sup>4)</sup>

1) 公益社団法人 ギャンブル依存症問題を考える会

2) 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部

3) 筑波大学医学医療系

4) 株式会社NTTデータ ITサービス・ペイメント事業本部 ライフデジタル事業部

## 02-3 精神科診療所で行うギャンブルプログラムの有用性

—参加群と非参加群を比較して—

金織来多、上村敬一

うえむらメンタルサポート診療所

9:40 ~ 10:40 一般演題(口演) 3 03

## 薬物依存

座長：成瀬暢也(埼玉県立精神医療センター)

03-1 埼玉県立精神医療センターを受診した物質使用障害患者の主たる薬物の推移  
—危険ドラッグの流行と収束—

合川勇三、山崎聞平、和田 清、成瀬暢也

埼玉県立精神医療センター 精神科

03-2 依存症専門外来で性的マイノリティであることを自らカミングアウトした  
物質使用障害患者の臨床的特徴

西村康平、板橋登子、福生泰久、吉松尚彦、黒澤文貴、小林桜児

神奈川県立精神医療センター

## 03-3 埼玉県立精神医療センターにおける危険ドラッグ入院患者の特徴と傾向

山崎聞平<sup>1)</sup>、合川勇三<sup>1)</sup>、平山知恵<sup>2)</sup>、成瀬暢也<sup>1)</sup>、和田 清<sup>1)</sup>

1) 埼玉県立精神医療センター 精神科

2) 茨城県立こころの医療センター 精神科

**03-4 外来 SMARPP (「ぼちぼち」) における作業療法の取り組み**加瀬 忍<sup>1)</sup>、入来晃久<sup>2)</sup>

- 1) 大阪精神医療センター 作業療法室
- 2) 大阪精神医療センター 医務局

**03-5 回復支援施設における TC エンカウンター・グループの適用に関する研究**引土絵未<sup>1,2)</sup>、岡崎重人<sup>3)</sup>、加藤 隆<sup>4)</sup>、山本 大<sup>5)</sup>、山崎明義<sup>6)</sup>、松本俊彦<sup>1)</sup>、嶋根卓也<sup>1)</sup>

- 1) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
- 2) 日本学術振興会
- 3) NPO 法人川崎ダルク支援会
- 4) NPO 法人八王子ダルク
- 5) NPO 法人アパリ藤岡ダルク
- 6) 特定非営利活動法人東京ダルク

**03-6 アディクション治療プログラムが若手医師の薬物依存治療に関する意識に与える影響**常岡俊昭<sup>1)</sup>、堀内健太郎<sup>1,2)</sup>、江島智子<sup>2)</sup>、横山佐知子<sup>1,2)</sup>、藤澤尚子<sup>2)</sup>、根本ありす<sup>2)</sup>、小野英里子<sup>1,2)</sup>、稲本淳子<sup>1,2)</sup>、岩波 明<sup>1,2)</sup>

- 1) 昭和大学 医学部 精神医学講座
- 2) 昭和大学附属烏山病院

**13:10 ~ 14:10 一般演題 (口演) 6 06****依存症の治療プログラム**

座長：森田展彰 (筑波大学医学医療系社会精神保健学分野)

**06-1 依存症患者の初診受診率およびキャンセル率の調査  
～初診予約のあり方を一考する～**堀内恵美子<sup>1)</sup>、堀 幸子<sup>1)</sup>、小島亮子<sup>1)</sup>、大曾根しのぶ<sup>2)</sup>、楠山さなみ<sup>2)</sup>、藤城弘康<sup>2)</sup>、井上恭子<sup>2)</sup>、板橋登子<sup>3)</sup>、小林桜児<sup>4)</sup>

- 1) 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター  
看護局 外来看護科
- 2) 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター 福祉医療相談科
- 3) 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター 臨床研究室
- 4) 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター 医療局

**06-2 依存症初診患者の基本情報及び心理尺度得点と6か月後予後**板橋登子<sup>1)</sup>、小林桜児<sup>2)</sup>、黒澤文貴<sup>2)</sup>、福生泰久<sup>2)</sup>、吉裕尚彦<sup>2)</sup>、西村康平<sup>2)</sup>、堀内恵美子<sup>3)</sup>、堀 幸子<sup>3)</sup>、小島亮子<sup>3)</sup>

- 1) 神奈川県立精神医療センター 臨床研究部臨床研究室
- 2) 神奈川県立精神医療センター 依存症診療部
- 3) 神奈川県立精神医療センター 看護局外来看護科



**06-3 依存症入院患者の過剰適応傾向のタイプ分類と退院後の経過について**

板橋登子<sup>1)</sup>、小林桜児<sup>2)</sup>、黒澤文貴<sup>2)</sup>、福生泰久<sup>2)</sup>、吉松尚彦<sup>2)</sup>、西村康平<sup>2)</sup>、山口二三子<sup>3)</sup>、松島正明<sup>3)</sup>

- 1) 神奈川県立精神医療センター 臨床研究部臨床研究室
- 2) 神奈川県立精神医療センター 依存症診療部
- 3) 神奈川県立精神医療センター 2 B病棟看護科

**06-4 依存症入院病棟における音楽療法の意義**

上滝 司<sup>1)</sup>、小林桜児<sup>2)</sup>、小宮 勤<sup>3)</sup>

- 1) ウィスタリア音楽院
- 2) 神奈川県立精神医療センター
- 3) 渋谷ダルク

**06-5 千葉県精神保健福祉センターにおける薬物依存回復プログラム参加者の特徴について**

大宮宗一郎<sup>1)</sup>、谷渕由布子<sup>2)</sup>、石田恵美<sup>3)</sup>、柳 友里<sup>3)</sup>、吉水宏太郎<sup>3)</sup>、田畑聡史<sup>4)</sup>、白川雄一郎<sup>4)</sup>、堀口忠利<sup>5)</sup>

- 1) 筑波大学 医学医療系 社会精神保健学
- 2) 医療法人同和会 千葉病院
- 3) 千葉県精神保健福祉センター
- 4) 一般社団法人 千葉ダルク
- 5) B.A.S.E

**06-6 依存症専門病院における家族教室①**

～薬物家族教室～

井上恭子、大曾根しのぶ、楠山さなみ、藤城弘康、西岡恭子

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター 福祉医療相談科

14:20 ~ 15:10 一般演題(口演) 8 08

## アルコール依存症の治療

座長：中山秀紀(国立病院機構久里浜医療センター)

## 08-1 外来 SARPP 参加者の断酒と自助グループ参加について

藤城弘康<sup>1)</sup>、大曾根しのぶ<sup>1)</sup>、楠山さなみ<sup>1)</sup>、井上恭子<sup>1)</sup>、西岡恭子<sup>1)</sup>、板橋登子<sup>2)</sup>

- 1) 神奈川県立精神医療センター 福祉医療相談科
- 2) 神奈川県立精神医療センター 臨床研究部臨床研究室

## 08-2 従来の入院プログラムに関する文献研究と、東京医療センター・アルコール入院治療プログラム(TAPPY)

杉原正子<sup>1,2)</sup>、石原亮太<sup>1)</sup>、佐藤寧子<sup>3)</sup>、水野有紀<sup>4)</sup>、千葉ちよ<sup>5)</sup>、吉野景子<sup>6)</sup>、山田愛梨<sup>7)</sup>、  
小黒草太<sup>8)</sup>、菊池真大<sup>9)</sup>

- 1) 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 精神科
- 2) 慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室
- 3) 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 看護部
- 4) 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 医療福祉相談室
- 5) 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 心理室
- 6) 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 薬剤部
- 7) 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 栄養部
- 8) 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 放射線科
- 9) 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 消化器内科

## 08-3 東京医療センターにおけるアルコール短期入院治療プログラム(TAPPY)について

石原亮太<sup>1)</sup>、杉原正子<sup>1)</sup>、水野有紀<sup>2)</sup>、千葉ちよ<sup>1)</sup>、吉野景子<sup>3)</sup>、山田愛梨<sup>4)</sup>、小黒草太<sup>5)</sup>、  
佐藤寧子<sup>6)</sup>、菊池真大<sup>7)</sup>

- 1) 国立病院機構 東京医療センター 精神科
- 2) 国立病院機構 東京医療センター 医療福祉相談室
- 3) 国立病院機構 東京医療センター 薬剤部
- 4) 国立病院機構 東京医療センター 栄養管理室
- 5) 国立病院機構 東京医療センター 放射線科
- 6) 国立病院機構 東京医療センター 看護部
- 7) 国立病院機構 東京医療センター 消化器内科

## 08-4 北アルプス医療センターあづみ病院におけるアルコール依存症入院患者の経過

中村敏範<sup>1)</sup>、雨宮光太郎<sup>3)</sup>、篠山大明<sup>2)</sup>、高橋 徹<sup>1)</sup>、村田志保<sup>3)</sup>、鷺塚伸介<sup>2)</sup>

- 1) 信州大学医学部附属病院 精神科
- 2) 信州大学医学部 精神医学教室
- 3) 北アルプス医療センターあづみ病院 精神科

## 08-5 神奈川県立精神医療センターにおけるアルコール家族会

藤城弘康、大曾根しのぶ、楠山さなみ、西岡恭子、井上恭子  
神奈川県立精神医療センター 福祉医療相談課

## 15:20 ~ 16:10 一般演題(口演) 9 09

## 臨床研究・症例報告

座長：真栄里仁(久里浜医療センター)

**09-1 人格的特徴(演技性人格障害)が飲酒行動に影響したアルコール使用障害の一例**

島崎勇人、小曾根基裕、宮田久嗣、繁田雅弘

東京慈恵会医科大学精神医学講座

**09-2 成人期 ADHD の特徴を理解することで回復に繋がったアルコール依存症の一例**

倉田 勉<sup>1)</sup>、吉野晃平<sup>1,2)</sup>、柳井貴志<sup>1)</sup>、小沢大輔<sup>1)</sup>、高山淳一<sup>1)</sup>、渡邊堅太<sup>1)</sup>、田井美香<sup>1)</sup>、  
菊池周一<sup>1)</sup>、矢田洋三<sup>1)</sup>

1) 社会医療法人社団さつき会 袖ヶ浦さつき台病院

2) 帝京大学ちば総合医療センター

**09-3 ウットについてどう考えるか**

～依存症治療過程での乱用の一症例を通して

中田千尋

慈友クリニック

**09-4 依存症の回復には、発達障害の診断と治療が必要である**

大塚明彦、森本志保

大塚クリニック

**09-5 アルコール量が術後認知機能障害に及ぼす影響**

工藤 明

弘前市立病院